

2015 年度事業報告書

仮認定特定非営利活動法人こむの事業所

1 事業の成果

2015 年度は、職域の拡大については市立健康センター休日応急診療所等を新たに受注するとともにレストランこむず、こむの市場、こむの修理屋さんの売り上げを拡大したことにより、就労事業全体では売上ベースで 12% の増加につながり、本年 1 月には新たに 2 人の障害者スタッフと雇用契約を結んだ。

一方で、支援給付費の請求誤りに端を発して職業能力開発につながる支援の不備が課題となったことから、経営支援会議の議論をふまえて支援のあり方を改善することに努力を傾注した。

民間企業への一般就労の力を持っていると思われる障害者スタッフは、正規職員につながる就職を目指してチャレンジしているが結果が出せていないところから、今後施設外支援などの制度を使いながら実現を目指すこととしている。

(1) ビル管理事業

① 宝塚市立老人福祉センター・大型児童センター清掃の受託

通常清掃についてはおおむね順調に業務遂行ができ、現在業務の平準化およびマニュアル作成に着手するほか効率化を目指した取り組みを進め、障害者スタッフの職務能力の向上を目指している。

懸案であった定期清掃業務についても、チーム体制の確立やスキルの向上により、事業開始年度比でおおむね 40% 程度の時間短縮がはかられている。

② 宝塚市立健康センター・口腔保健センター清掃の受託

2015 年度は、優先発注推進法に基き、宝塚市立健康センターの改築整備による事務室・休日応急診療所の清掃を新たに受託し、障害者および仕事を得にくい青年の職域拡大を図った。

障害者スタッフ個々の業務遂行能力向上のために職場リーダーを中心に取り組みを進めたことにより、品質を維持しながら予定時間内に仕上げる課題の達成がはかられている。

③ その他清掃事業

優先発注推進法に基づき広域消防指令センターの定期清掃を受託したほかぷらざこむ 1 の調理室のワックス掛けを行ったが、誤った剥離剤を用いる事態が起き、作業現場の P D C A サイクルが課題であることが明らかとなり取り組みを進めている。

④ 駐車場管理

2015年度に自立支援給付費の過誤請求に端を発した障害者スタッフへの職能開発支援の不備については、2015年8月から土日祝日について、施設長、マネジャー2名で分担して出勤し、ぷらざこむ1の受付を支援制度に認められる出張所の届け出を行うなど条件整備をしたうえで以下の業務改善に取り組んだ。

- ① 4時間（半日）を業務単位として、単位ごとに駐車場ゲートの機器、台数カウント等を所定のチェックシートにより点検する。
- ② 接遇研修で学んだことを、2項目ずつ自己評価シートを作成、マネジャーと達成度を確認しながら努力目標を共有する。
- ③ 日々起きるお客様との対応事例を、これまで作成してきた業務記録ノートから拾い上げ、分担して解決方法を短文化し、全員で標準化を図って問題解決業務マニュアルを従事者自身の力で作成する。
- ④ 全員が全体の業務を理解し、チーム力を高めるために、単位（4時間）ごとにぷらざこむ1事務所とこむの事業所事務所をできるかぎり交互に従事する。

（2） 食事サービス事業

① 給食受託

宝塚育成事業所の給食調理業務については、障害者1名と職業指導員1名の職場として安定的に業務が実施できているが、障害者スタッフの仕事の拡充が課題となっている。

めふプラザ給食受託、こむの事業所給食については、厨房への障害者スタッフ配置のためにチーム制の導入を試みたが支援する人材の確保ができず新年度の最重要課題としている。

② レストランこむずの営業

2015年度は、折り紙サロンの開設、メニューの充実やサービスの改善の努力により利用客の大幅な増加が得られ、目標を大幅に超える売り上げを達成したが、調理作業やホールサービスに課題も生じており、態勢固めが課題となっている。

③ 配食・おせち事業

2015年度は、配食サービスの本格実施を目指してとりくんできたサロン弁当やデイサービス奏への配食に加えて年度途中からデイサービススイッチオンへの配食を開始し、糖尿食の提供など実績を挙げるなど大きく前進することができた。

おせち事業については、ひきつづき尼崎三和市场と共同で実施し、一定の成果を挙げることもできた。

(3) こむの市場事業

① 生鮮野菜・米の販売

前年度に引き続き仕入れ先の拡大、販売の促進に取り組んだが、市況の悪化による米の販売が不振であったことなどにより売り上げの大幅な増加にはつながらなかった。障害者スタッフ 1 名のフルタイム職場となっていたが、配置転換により 2 名の障害者スタッフの短時間職場となっている。

② その他の取り組み

市社会福祉協議会との連携により、公営住宅集会所におけるサロン活動の一部として販売を実施したところ、相当の売り上げが上がるとともに、その野菜の購入が閉じこもりがちなお年寄りの外出機会になるなど連携効果が高いところから、実施箇所を増やしていく検討をしている。

(4) パソコン事業

パソコン等電子機器の技術を有する職員及びパソコンソフト等の知識を有する障害者スタッフ 2 名のチームにより事業にとりくみ、2015 年度は売上を伸ばすことができた。

なかでもデータベース事業については、商品管理システムなど新たな開発に取り組むほか、ボラコシステムを西宮市社会福祉協議会及び尼崎市社会福祉協議会に販売するなど徐々に実績が上がりつつある。

(5) その他

① 住居利用

2015 年度は、家族からの暴力を避けるための避難など深刻な事態にある人の利用が増え、住居を利用しながら支援機関の支援を受けて地域生活を無事に始めるなど 6 人延べ 314 日の利用があった一方で地域生活訓練について利用がなかったことから、引き続き課題となっている。

② アトリエの利用

現在アトリエについては、こむの修理屋さん及び試行的に実施しているエビス面画き作業場としての利用が主となっているほか、めふプラザのガラス工芸の利用に供している。

③ 研修室、教室の利用

1 階研修室、2 階教室については、食事サービスの利用につなげるために昼食若しくは喫茶の利用を条件にグループ貸出しを行っており、利用が増加している。

④ 障害者就労・生活支援センター事務所貸付

社会福祉法人宝塚さざんか福祉会が宝塚市の委託を受けて運営する障害者就業・生活支援センターについては、障害者等の就労について、2015年度は1,259件の面談による相談を実施し、34人が就職した。

⑤ 成年後見センター事務所貸付

NPO 法人宝塚成年後見センターが行う高齢者・障害者の法人後見等について、2015年度は面談をはじめ福祉サービス利用支援など966件の支援サービスを行ったほか17人の法人後見を行った。

2 事業実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	ビル管理事業	通年	宝塚市立老人福祉センター・大型児童センター、こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-8、9 宝塚市立健康センター 宝塚市小浜 4丁目 4-1 宝塚市立口腔保健センター 宝塚市小浜 2丁目 1-30 ヌーベン・ヴァーグ 宝塚市湯本町 9-10 福祉コミュニティプラザ駐車場 宝塚市売布東の町 9 番地内	24 人	障害 11 人 就労要支援 6 人	17,718
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	食事サービス事業	通年	宝塚育成事業所内厨房 宝塚市安倉西 4-1-7 こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	13 人	障害者 3 人	27,157
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	こむの市場事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	2 人	障害者 1 人	9,962
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	パソコン事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	3 人	障害者 2 人	3,561
障害者等の地域移行及び一時的に住まいの困難を抱える人への住居支援に関する事業	住居支援事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	1 人	DV、家庭内暴力、虐待からの避難	378

